

葛西第一地区だより

第69号

発行 青少年育成葛西第一地区委員会
編集 編集部
研 修 部

事務局 葛西事務所
地域サービス係内
中葛西3-10-1
TEL(3688)0434(直)

陸上競技大会

第32回

第32回陸上競技大会は4年ぶりの開催となりました。小

江戸川区がこんな無邪気な喜びに包まれたのはいつ以来でしょうか。長く続いたコロナ禍によって多くのイベントは中止され、子どもたちはマスクをつけ、自宅待機を強いられました。そんな鬱屈した空気を吹き飛ばすかのよう、子どもたちの歓声が、江戸川区陸上競技場の上空へと吸い込まれていきました。

学生から中学生までの総勢約550名が参加し、各競技種目への挑みました。午前9時からの開会式には、斉藤猛江戸川区長をはじめ、都・区議会議員、町会・自治会長、小・中学校長、その他多数のご来賓の皆さまに出席いただきました。競技開始に先立ち、選手代表の小林花音さん(葛西小学校6年)と石川大智さん(船堀小学校6年)から力強い選手宣誓がありました。

開会式の終了後は、斉藤区長のスタート合図により、小学校1年生の男女6名による50m競走が、模擬レースとして行われました。競走種目は、50m競走、100m競走、走り幅跳び、走り高跳び、ドッジボール投げ、1000

◆第32回陸上競技大会 種目別上位入賞者◆

	50m・100m競走	走り幅跳び	走り高跳び	ドッジボール投げ	1000m・1500m競走
小学1・2年	男子 1位 鈴木 稜 青山 宙明			戸井 穂昂	
	2位 土井 道登 竹蓋 蒼生			杉谷 清利	
	3位 宮井 楓 小塚 授琉			加藤 慈琉	
小学3・4年	男子 1位 笠野 芽生 三上 友紀乃			駒井 陽菜乃	
	2位 渡辺 菜渚			鈴木 希海	
	3位 スティーン 真莉菜			山下 藍	
小学5・6年	男子 1位 千保 聡太 中村 晃太			渡邊 由晴 三津田 源	
	2位 加藤 成 大阿久 颯汰			木竜 夢翔 北村 太一	
	3位 新木 颯真 澤田 凌玖			菅原 快正 北住 瑛大	
中学生	男子 1位 八田 遥月 山下 瑞希			小田 望実 栗林 美帆	
	2位 阿部 心春 福原 世奈			佐々木 里奈 山崎 真央	
	3位 松本 さら			浦田 佳歩 芝田 梨里奈	
男子	1位 昆野 央宙 松山 龍仁	ザンデラト アスラン		永島 海璃 小口 大翔	
	2位 中村 駿 田中 まはる			椎名 修太 須山 慶	
	3位 吉岡 颯太 笠野 蒼真			内藤 幹太 安部 智樹	
女子	1位 木島 和音 菅沼 千鶴			藤 凛 大野 グエン亜優	
	2位 小柳 柚奈				小林 花音
	3位 安達 日咲				大木 優里
男子	1位 高橋 祐翔 佐藤 匡太	富井 隆晶		櫻澤 宏輔	
	2位 佐藤 大雅 林 寛太	村山 遥大		山崎 有人	
	3位 小笠原 健留 新井 大和	田部井 大輔		田邊 圭梧	
女子	1位 米倉 心結 高橋 ゆき奈	高橋 有希		塚本 慶	
	2位 畑 希実 鈴木 海音			三津田 慈	
	3位 元吉 恵麻 青木 沙月			小林 愛音	

※小学1・2年生は50m走、小学3年生以上は100m走を実施
※小学生は1000m走、中学生は1500m走を実施



☆チーム対抗リレー

小学生の部	優勝	七船スターズ
	準優勝	ブルーシャークスクラブ
	第三位	船堀ダックスクラブ
中学生の部	優勝	みどりクラブ
	準優勝	清新二中(男子)
	第三位	清新ハンターズ

各競技種目の上位入賞者は上記のとおりです。入賞者には杉浦修委員長よりメダルや賞状が授与されました。閉会式では、松本勝行副委員長より閉会の言葉がありました。チーム対抗リレーの上位成績は左記の通りです。



第40回

ブロック研修会

令和5年2月10日(金)

主催 研修部

はじめに

2月10日(金)に第40回ブロック研修会が開催され、当日は学校関係者と地域の方々を中心に48名が参加しました。

今回は青少年育成葛西第一地区委員会の喜渡英行元委員長をお迎えし、「ボランティアの大切さ」自らの経験を通して「をテーマにご講演いただきました。

ボランティアとは

地域社会や多くの人々に対してサービスをする人。ボランティアになるためには資格は必要ありません。強制してはいけません。やりたい人がやる、続けるのも自由で、好きならば長く続けていかならなければいいと思っています。

やってきたボランティア

最初のボランティアはサークルの歌い手でした。基本は月1回ですが、2〜3回



の月もありました。最後のほうは日程が合わず疎遠になってしまいましたが、サークル自体は形を変えてまだやっていて近くに來たら声をかけてくれます。

サークルをやっている時に地区委員の話が来りました。人が少ないので3代目、4代目の委員長と皆でつながりある人を集めるようにしました。人を集めるにはどうすればいいか考え、ソフトボールの親睦大会を始めて、5チームくらい集まり、その時声をかけ何人か入ってくれました。ソフトボール大会も続けていきました。

卓球もやる人がいたので練習会を行い、それから大会も開かれるようになりました。青少年委員の時に野生体験を推進する会を作りました。野生体験キャンプは22年続きました。年々少なくなってきたが毎年60〜70人の参加がありました。

キャンプに並行して児童館のお話もいただき参加させてもらいました。イベントとして餅つきを行い、子どもたちはお客さんではなく実行委員として、子ども中心で実施する形にしました。

他には児童館の館長からラケットが30本くらい出てきたからテニスを教えてとの依頼があり、5〜6年生を対象

に指導を10年続けました。その後、児童館がなくなり共育プラザ・すくすくスクールが始まりました。

私もある学校のすくすくスクールで未だに活動させていただいております。

すくすくスクールを20年続けながら、学校応援団として下校時間に腕章をつけて自転車でパトロールを行っています。子どもたちから挨拶してくれます。

テニスサークルの指導も月3回くらい行っています。とにかくいろいろなボランティアをやらせていただきました。

最後に

ボランティアはやってあげているという気持ちでなくやらせてもらっているという気持ちでやらないと続きません。好きだから10年20年と長く続けられました。

ボランティアで多くの人に出会っているんなつながらできたのがよかったです。いろんな人と関わることで自分がないものを得られますし相手にないものを教えられるます。

様々なボランティア歴を通算すると、100年超になります。並行してやっていますので、年数としては60年近くになり、80歳になるうちの60年、人生の半分以上です。ですから、好きになってやっています。皆さん、何か見つけて楽しんでやっています。ただただいいなと思っています。

第29回 地域諸団体 代表者情報交換会

令和4年9月20日 主催 研修部

令和4年9月20日(火)に青少年育成葛西第一地区委員会研修部主催で第29回地域諸団体代表者情報交換会が行われました。ご参加いただきました方々の意見を一部ご紹介いたします。



●葛西警察署 生活安全課少年第一係 本年の少年事件について、万引きや自転車などの窃盗事案も多く検挙されている。違法薬物の検挙は、若年化して、特に大麻の所持で検挙される少年、オレオレ詐欺の受け子犯罪を犯す少年も多くなっている。子どもたちに分不相応な持ち物がないかを確認するのも我々大人の仕事とされているので、参考にしてほしい。また、当係は、児童虐待、犯罪少年に満たない13歳以下の少年の補導活動を主に行う係であり、コロナ禍での在宅の仕事による夫婦喧嘩などの心理的虐待、しつけと称した身体的虐待、育児放棄(ネグレクト)が昨年を上回る数になってきている。私たちが考えている以上にインターネットを使いこなす、誹謗中傷やいたずら動画など仮想空間の中での問題行動を多く起こしている。当所管内、深夜徘徊の補導が多く、もし深夜の公園などで見かけたら「おうちい帰らなさい」と声をかけたりしてほしい。今後も皆さんと連携をとってよりよい地域づくりを行ってきたい。

●宇喜田・小島地区自治連絡協議会 最近になって少人数の会議をやるようになった。地域の警らや消防の活動も中止でほとんど活動が出来ていないが、町会で道路の掃除、登校の見守りをして、コロナ禍であっても、子どもたちの声で癒され元気をもらえるので、辛抱をしながら活動をしている。

●江戸川区子ども連合会 葛西支部 ジュニアリーダー講習会を行っている。5、6年生は初級講習会、3、4年生は基礎講習会と2つに分けている。3年ぶりにフルに講習会が実施でき、御殿場でキャンプや茨城県猿島で研修などが行えた。支部には10の子ども会が所属しており情報交換をし、学校ではラジオ体操をしたりと、徐々に活動を始めている。

●保護司会 葛西分区分 犯罪を犯した人の社会復帰を目的に、一緒に寄り添い、学校と連携をして、子どもたちの支援を行っている。未成年が多く、先輩から手取り早く稼げる仕事があるとウマイ話に誘われる。いつの間にか受け子になっている。●江戸川めぐみ幼稚園 園でも手探りで、わからないことだらけで幼児を中心として子どもたちには悲しい思いをさせてしまった。換気をしたり感染防止の観点から、うがいなどを励行したり、いろいろな手段を促してウィズコロナということを進めている。子どもたちに先生からネット配信をしたり、保護者との面談もオンラインを使って対話をした。

●船堀第二保育園 休園で行事ができない、保護者会も1名だけしか参加できない状態である。運動会は1、2歳は行わず、3、4、5歳でクラスごとに時差を付けて行った。チャレンジザドリリームの中学校の生徒たちとの交流で子どもたちには刺激になっている。

●第五葛西小学校 子どもたち、教員、保護者、そして地域の方たちも笑顔になれるような学校を目指している。学校では6日間のプールの指導、ほか、体育館で生の演劇を観て、笑顔があふれるように感じました。プールを使ってカヌー体験会を行った。ハードル選手の演技指導をしたり、できるだけコロナ前のかたちでできることはやりました。

●南葛西中学校 林間学校や修学旅行にも行ったこと況で、子どもたちの絆が深まり、いい状況になってきている。今後は、学年ごとの合唱コンクールも予定されている。いろいろな行事が復活して地域の方たちと子どもたちがコミュニケーションをとれることが理想であると思っっている。

●葛西中学校 令和2年に入学式の中止、各種行事の中止が続く。地域の神社のお祭りも中止で顔が出せなかった。学校公開が行われていたことで保護者との繋がりを切らさないように取り組んできた。

●夜間パトロールの依頼があったが、感染拡大に伴い行っていない。

●スポーツ推進委員 独自の活動と地域の要請で行う二つの活動があるが、自分たちの研修も思うように進まない。

●令和4年度は江戸川マラソン、ウォーキング、カヌー、スラローム、バラスポーツへの協力活動が始まる。毎年行っているドッチビー大会も室内競技ということで中止になった。

●共育プラザ葛西 未就学児のための子育て広場というエリアと中学生のスポーツ施設、来館した小学生でも遊べるよう迎え入れた。江戸川区が力を入れたeスポーツ体験を小中学生だけでなく高齢者も含

めて開催している。ユーススポーツ事業として、不登校の子どもたちの支援を教育活動の一環として行っている。子育て広場では子どもを一時預かる事業も始まっている。

●船堀幼稚園 お昼は黙食、室内ではマスクだが、親水公園では子どもたちが水遊びや蟬取りなどができ、江戸川区は環境に恵まれていると思う。PTA活動も縮小しているが、コロナ禍になって各行事の見直しをすることができ運動会がと見やすかったなど好評を得た。無償化に伴い人数が減っており、オンラインでの入学説明会なども行っているが区立幼稚園をぜひ紹介してほしい。

●葛西西南高校 現在の3年生は、入学式、始業式も分散登校や、オンライン授業、部活動も夏休みの練習もできない。オンラインで文化祭も行った。修学旅行やスキー体験も緊急事態宣言でできず大変申し訳なかったと思う。企業の方にオンラインでいろいろお話を聞きたい。子どもたちと企業とのかわりに、お力添えをお願いしたい。

●葛西西南高校PTA 11月に周年行事があるので準備をしているが、集まらないので最小限の人数で連絡を取り合っている。リモートでの会議、集まる回数や人数を少なくして学校と相談しながら進めている。地域の方々には、子どもたちも迷惑をかけることも有るかと思うがよろしく願いたい。

●葛西工科高校 体育祭を球技大会として行い、文化祭も観覧の人数を絞って取り組んだ。就職については、150人の生徒数に300社からの求人があり、近年増えているようにだが定着率が落ちてきているからなのかもしれない。

●都立の工業高校全体が改革を行い、これからの時代に備え、学習を深めて社会で活躍できる子を育て、地域と連携をしながら見守ってほしい。

●紅葉川高校 臨海地区にある学校で、生徒は自転車での通学、通常通りの時間で始業している。学校行事では、体育祭は午後から雨で中止となり、後日動画を保護者に向けてホームページにあげた。文化祭も中学生3年生と保護者を時間ごとに分けてお招きして開催、子どもたちも熱心に取り組んでいた。本校のポリシーは自主自立、学校行事も含んで自主性をもって自立をしてくださいと指導している。

●紅葉川高校PTA 生徒は、学校をでると様々なトラブルに巻き込まれやすいため、見守り活動をしてほしい。江戸川区の都立高校7校のPTA幹事校をして、今後も子どもたちの為のPTAでありたいと思っっている。



令和4年度最後の行事となる、第24回迷走クイズ&ニュースポーツを青少年育成葛西第一地区委員会の青少年部と江戸川区子ども連合会の葛西支部の皆さんと共催にて開催いたしました。

このイベントは、「クイズで町を知ろう」をモットーに、子どもたちに自分の住んでいる町を少しでも知ってもらおうと、気軽にできるニュースポーツ(フリスビー)を覚えてもらうことを目的としています。

当日は、総勢32チーム(1チーム2〜7名)の参加がありました。今年は、コロナウイルス感染拡大の影響のため4年ぶりの開催になりました。また、葛西消防団の皆さんには警備を担当してもらい、葛西支部のジュニアリーダーの中学生にも協力していただきました。

迷走クイズ&ニュースポーツ

【入賞チーム】	
優勝	FUN
準優勝	UNO&ONO
第三位	エースパーン

葛西第一地区管内には小学校が7校あり、毎年輪番制で開催しております。今年は宇喜田小学校だったので、迷走クイズのコースは新川沿いを歩くことにしました。危険箇所も少なく、なかつたので、応援スタッフも少なくても大丈夫です。

最後に、当日は寒さにもかかわらず子どもたちの中にはTシャツ姿の子もいたのが印象的でした。

閉会式は午後一時近くになったせいも、子どもたちの中には「お腹がすいた」という声がありました。開会式では今年は軽食はありませんと伝えてはありましたが、お腹には勝てずに出したようです。来年はコロナが収まって軽食が食べられるといいですね。

最後に、当日は寒さにもかかわらず子どもたちの中にはTシャツ姿の子もいたのが印象的でした。

今回の道のりは約3km弱だったので帰校するまで一時間強かかりました。毎年、走る子が多いのですが、今回は走る子はあまりいないと付き添いスタッフは言っていました。良い要因だと思っっています。最後は、ニュースポーツの得点を加算して最終結果の優勝チームは「FUN」というチームでした。

た。帰校すると最後のクイズが待っています。歩いてきたコースの中に隠し問題があり、ヒントはあるものの記憶を頼りに問題を解かなければなりません。ほとんどのチームは正答を書いておりました。

今年の問題は約3km弱だったので帰校するまで一時間強かかりました。毎年、走る子が多いのですが、今回は走る子はあまりいないと付き添いスタッフは言っていました。良い要因だと思っっています。最後は、ニュースポーツの得点を加算して最終結果の優勝チームは「FUN」というチームでした。



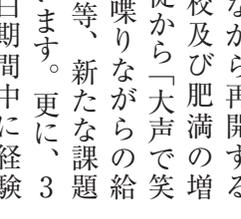
地球温暖化の影響なのか各地で災害が頻発に発生している。感染症も含まれることから、災害が常態化しているのではと懸念される。今ではすっかり死語化している「天災は忘れた頃にやってくる」の頃が懐かしく思われる。

編集後記

学校関係者情報交換会

学校関係者情報交換会は、これまで活動していた地域諸団体代表者情報交換会から平成27年に分科し、青少年育成葛西第一地区の小中学校(校長及びPTA会長)並びに地区委員会(役員)で構成し発足しています。直面している問題点や対策及び活動報告等を通して学校間の情報共有化並びに連携を深めることを旨としています。

コロナ禍により殆どの学校行事が中止を余儀なくされ、自粛による閉塞感漂う最中、実施できることから工夫を重ねながら再開する一方、不登校及び肥満の増加傾向や生徒から「大声で笑いたい!」「喋りながらの給食」との要望等、新たな課題が発生しています。更に、3年に及ぶ空白期間中に経験者が減り、実施活動の一部に戸惑いを来し、マニュアル整備が喫緊の課題となりました。



学校関係者情報交換会は、これまで活動していた地域諸団体代表者情報交換会から平成27年に分科し、青少年育成葛西第一地区の小中学校(校長及びPTA会長)並びに地区委員会(役員)で構成し発足しています。直面している問題点や対策及び活動報告等を通して学校間の情報共有化並びに連携を深めることを旨としています。

コロナ禍により殆どの学校行事が中止を余儀なくされ、自粛による閉塞感漂う最中、実施できることから工夫を重ねながら再開する一方、不登校及び肥満の増加傾向や生徒から「大声で笑いたい!」「喋りながらの給食」との要望等、新たな課題が発生しています。更に、3年に及ぶ空白期間中に経験者が減り、実施活動の一部に戸惑いを来し、マニュアル整備が喫緊の課題となりました。